

(生活・行政サービス向上-N-3)

とくったー
地域商店街の横丁機能を基盤にしたスマートフォン高齢者見守りシステム
(特定非営利活動法人徳島インターネット市民塾、徳島県徳島市)

〔概要〕

「とくったー」は、地域商店街の横丁機能を基盤にしたスマートフォン高齢者見守りシステムです。総務省平成21年度ICTふるさと元気事業として実施されているもので、特定非営利法人徳島インターネット市民塾が提案、徳島大学地域創生センターが開発しました。

〔コラム〕

「とくったー」は、140文字以内の短い文で情報発信するツイッターとスマートフォン(iPhone、Android端末)を利用して高齢者を見守ります。「徳島」と「ツイッター」を合わせて名づけました。

見守る側だけがツイッターを使うのではなく、見守られる高齢者側もツイッターを利用して情報発信し、高齢者の情報を地域社会が共有します。外から見守るだけでなく、日常的なあいさつや会話による相互の声かけが「ゆるやかなコミュニティ」を作り、地域全体で見守っていく方式です。

同時に、見守りネットワークをプラットフォームに、ワイワイがやがや、元気で活力ある徳島づくり、若者にも高齢者にもやさしく住みよいまちづくりを目指しています。

システムは、徳島大学の学生(iPhoneアプリ開発プロジェクトmake. app)が中心となって開発しました。

とくったーを使うと「元気いっぱいです」「少し体調が悪いです」などのメッセージを簡単な操作でつぶやくことができます。スマートフォンを使っていますので、いつでもどこでも発信することができます。自由にメッセージを作ったり、画像添付することも簡単です。

平成23年11月現在、「見守られ隊」は30名(男性13名、女性17名、平均年齢73歳)、「見守り隊」は42名(男性13名、女性19名、平均年齢50歳)。全員が1日2回程度つぶやくことを目標にしています。ツイート実績は月平均2,917ツイート(2013年7月～9月)、1日平均にして97ツイート、1人1日あたり1.6回つぶやいています。

高齢者には難しいと思われがちなツイッターの使い方、スマートフォンの操作については、月1回、地域ごとに集まるグループ交流会、3ヶ月に一度、事務局主催で全員が集まる「とくったー総会」などで教え合います。

使いこなすというよりは、新しい技術に触れる新鮮さ、習得する楽しさ、ツイッターによる異世代交流、横丁的な誘い合いで参加する食事会や紅葉狩りで外出が促進されることを喜んでおられる会員が多いという成果があがっています。会員のなかにはスキルアップし、FacebookやLINEを用途にあわせて使い分ける人も増えています。年齢を考えると驚くべき成長ぶりです。

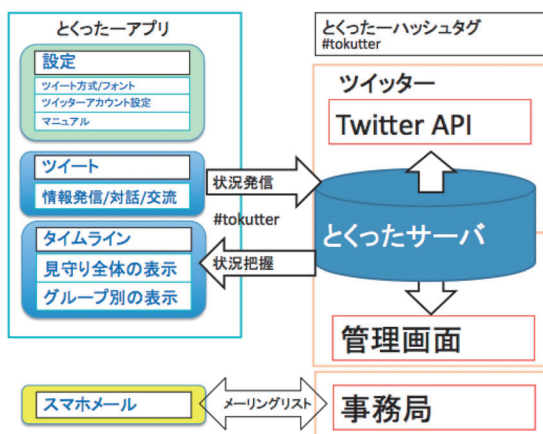
事務局を維持する財源問題、サーバーの管理、新規会員を増やすための人材問題など課題は少なくありませんが、地域の中に定着しつつあり、高齢者の見守りに関する意識が少しずつ変化していることが実感できる事業となっています。

事業スタート以来、視察やメディア報道の機会が多く、それがまた会員の楽しみともなっています。

詳細は公式Webサイトをご覧ください。<http://tokutter.com/>



とくったーシステム



(問い合わせ先)

- ・とくったー事務局 (NPO法人徳島インターネット市民塾事務局)
- e-mail: info@tokutter.com
- TEL: 080-4406-2093 (受付時間 月・火・金の午後1:00~午後5:00)